

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	火災及び災害時の訓練は低規程に行っているが、地域住民の参加や協力は得られていない。	非常災害時を想定した訓練には、地域住民の方々の協力が不可欠であるため、協力が得られる体制を構築する。	運営推進会議やホーム行事を活用し、日頃から地域の方々との交流に努めることで協力体制が構築されるよう努力します。ホームの主な行事予定や避難訓練等の予定を近隣の方々へお手紙などで配布し、関係づくりに努力します。	6ヶ月
2	6	身体拘束をしない支援について、ホーム内での勉強会を行い、意識の向上に努めているも、非常口の施錠や管理については、解決策が見いだせていない。	利用者の権利擁護、人権の尊重に対する意識の向上が必要とされているため、臨時の勉強会や見守りの強化、寄り添ったケアを心がけることで安心した生活が送られるよう努めていく。	外部研修や内部研修で身体拘束をしない支援方法を学ぶことで、情報や知識、アイデア、意見を参考にして資質の向上に努めていきます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。